



## イギリスの郵貯車両がFSSを正式採用

イギリス郵便サービスの車両300台に、これまでの粉末消火器に代わりFSSが正式採用。車両搭載している高額機器を破損させないFSSの不活性ガスによる消火方法は、世界中から注目されています。



## 欧州熱波による農業火災を救うFSSの活躍

欧州農業は熱波や干ばつ、洪水被害が増加の傾向。2022年の収穫時期の熱波の際、収穫中に火災が多発。FSSの不活性ガスがコンバインの内部にまで入り込み初期消火。高価な大型コンバインと周囲の畑の農作物がFSSの効果的な初期消火によって救われました。



## 世界最大のモータースポーツF1の現場でもFSSを採用

モータースポーツの車両火災は増加傾向。各レーシングチームでは数秒で消火し廃車にしないFSSの採用が加速。今後、FSSは世界最大のモータースポーツF1を中心に、選手の命、レーシングカー、ピットスタッフを救う極めて重要な役割を果たしていきます。



## 逃げ遅れから命を守るFSS 住宅火災の必須アイテムに

リチャード夫妻の住宅で火災発生。夫はFSSを噴射させ、グリルの下にそれを投げ込みました。安全確保のため、妻と庭に脱出。そのわずか3秒後に炎は収まりました。FSSは噴射を続け、消火器として機能するだけでなく火災が再燃しないように消火を継続し、後を汚さずに鎮火を成功させたのです。



## イギリスの消防車・警察車両にFSSが正式採用

英国全土の消防機関では現在車両に搭載している従来の消火器をFSSに置き換える動きが加速。また警察機関や地域の救急隊、他の緊急サービスなど公的機関全体がFSSに強い関心を寄せています。



## フランス警察が採用。欧州の治安維持にFSSが貢献

パリ、リヨンなどの大都市では警察に反発する若者らとの衝突が多発。警察署の放火や商店の略奪が発生。フランス警察では市民の治安維持のためFSSを公式採用。すでに数件の鎮火実績があり、世界中の治安組織から注目を集めています。